

セメント・コンクリート論文集 原稿執筆要領(和文原稿)

一般社団法人セメント協会

【執筆にあたっては、ホームページに掲載のテンプレート（Word）をご活用ください】

1. 論文集の形式

1.1. 使用言語

- (1) 日本語を使用する。
- (2) 図、表および写真中の文字およびタイトルは、英語を使用する。
- (3) 標題、著者名、所属機関および部署名、所在地、要旨、キーワードは英訳を付す。

1.2. 用字および用語

文章は簡潔に、原則として常用漢字および現代かなづかいを用い、用語については文部科学省学術用語、JISおよび関係学会等の用語辞典から選択することが望ましい。

1.3. 使用フォント

サイズを10.5 pt(表題は14 pt)とし、字体は以下の通りとする。

- ※ 和文 明朝体を標準 (MS明朝など)
- ※ 英数字 Century、Times、Times New Roman など

1.4. 句読点

句読点は「、」「。」を使用する。

1.5. 英数文字

半角を使用して記入する。ローマ数字、ギリシャ文字も、半角英数字フォント(Times New Roman 等)を使用して記入する。

a、B、 α 、 β 、 γ 、1、23、i、iv、I、III、XII

1.6. 単位および記号

半角を使用して、単位はSI単位を標準として記入する。

m、mm、mol、N、J、N/mm²

1.7. 化学式

半角を使用して記入する。

$3\text{CaO}\cdot\text{Al}_2\text{O}_3\cdot 3\text{CaSO}_4\cdot 32\text{H}_2\text{O}$

1.8. ページ数等の記入の禁止

提出原稿にページ数を記入しないこと。

1.9. 刷り上がり

論文集の刷り上がりは、以下の通りとなるよう原稿の執筆に留意する。

- (1) **A4判、2段組**(中央8mm スペース)とする。
- (2) 文字数および行数は、1段あたり**25文字×50行**とする。
- (3) 「1.10. 原稿の構成」に示す、全ての内容を含めて**6頁以上8頁以内**とする。

1.10. 原稿の構成

原稿の構成は下記による。

- | | |
|------------------------|-----------|
| (1) 標題 | (「2.」参照) |
| (2) 著者名(4名以内) | (「3.」参照) |
| (3) 所属機関名、所属部署名および所在地 | (「4.」参照) |
| (4) 要旨(200文字以上300文字以内) | (「5.」参照) |
| (5) キーワード(8語以内) | (「6.」参照) |
| (6) 本文 | (「7.」参照) |
| (7) 謝辞(必要な場合) | (「11.」参照) |
| (8) 参考文献 | (「12.」参照) |
| (9) 表題および要旨等の英訳 | (「13.」参照) |

a) TITLE

b) AUTHOR(S)

c) AFFILIATION AND ADDRESS

d) ABSTRACT

e) KEY WORDS

2. 標題の書式

1頁1行目に、フォントサイズを14ptとし、中央揃えで記入する。

3. 著者名の書式

標題から2行空けて、以下の要領で記入する。

- (1) 中央揃えで記入する。
- (2) 著者間は全角スペースで区切り、姓名の間はスペースを入れない。
- (3) 著者名の右末尾に、「*1」「*2」と番号を付けて、所属機関名および所属部署名を導く。所属機関・部署が同じ場合は、同じ番号を付す。

4. 所属機関名、所属部署名および所在地の書式

著者名から2行空けて、著者名に付した番号に対応するものを以下の要領で記入する。

- (1) 所属機関名および所属部署名は正式名称とし、〇〇大学 〇〇学部〇〇学科、〇〇大学 大学院〇〇系〇〇学専攻、〇〇株式会社 〇〇部、財団法人〇〇 〇〇研究所〇〇部まで記入する。
- (2) 所属機関名と所属部署名は全角スペースで区切る。
- (3) 所在地は、全角の括弧書きとする。
- (4) 所在地は、「〒」の後に、郵便番号を半角数字で記入し、都道府県名から記入する。
なお、丁目、番地は半角数字を使用して記入する。

□：スペースを示す

1行	〇〇〇セメントを使用したコンクリートの長期暴露性状	14pt
2行	[1行空]	空
3行	[1行空]	空
4行	東京幸三* ¹ □北春男* ² □豊島幸子* ³ □八重洲研二* ²	
5行	[1行空]	空
6行	[1行空]	空
7行	*1□〇〇大学□〇〇学部〇〇学科(〒111-0003 〇〇県〇〇市〇〇町2-3-15)	
8行	*2□〇〇大学□大学院〇〇系〇〇学専攻(〒114-003 東京都〇〇区〇〇1-3-1)	
9行	*3□〇〇株式会社□〇〇部(〒111-0003 〇〇県〇〇市〇〇区〇〇〇2-1)	
10行		

5. 要旨の書式

所在地から2行空けて、ゴシック体（MSゴシックなど）で「**要旨：**」を左詰めで記入した後、続けて200文字以上300文字以内で記入する。

6. キーワードの書式

要旨から2行空けて、ゴシック体（MSゴシックなど）で「**キーワード：**」を左詰めで記入した後、続けて8語以内で日本語のキーワードを記入する。

7. 本文の書式

キーワードから2行空けて2段組で、以下の要領で記入する。

- (1) 見出し番号は、下記のようにし全角で記入する。
 1. 〇〇〇〇〇〇〇〇〇
 1. 1〇〇〇〇〇〇〇〇〇
 - (1) 〇〇〇〇〇〇〇〇〇
 - a) 〇〇〇〇〇〇〇〇〇
- (2) 各章から次の章の見出しに移る場合は改行し、必ず1行空ける。

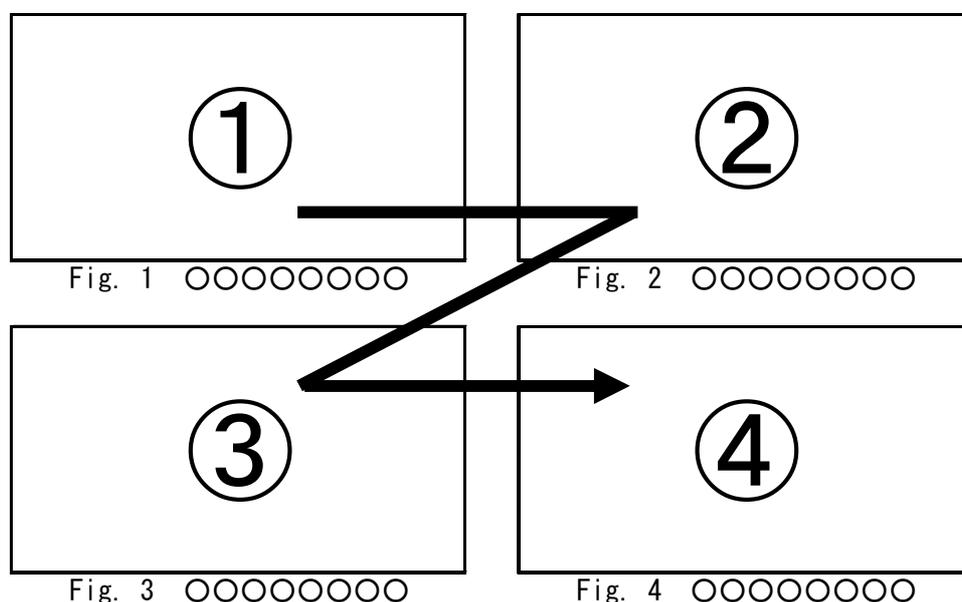
□：全角スペースを示す

要旨から	1行		[1行空]	空
	2行		[1行空]	空
	3行	キーワード：セメント、ビーライト系セメント、圧縮強度、水和熱、…		
	4行		[1行空]	空
	5行		[1行空]	空
	6行	1. ○○○○○○○○○○ ○○であった。		
	7行	1. 1○○○	[1行空]	
	8行	(1)○○○	3. ○○○○○○○○○○	
	9行	a)○○○	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	
	10行	[1行空]	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	
	11行	2. ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	

8. 図、表および写真

図、表および写真は、以下の要領で作成し挿入する。

- (1) 図、表、写真中の文字およびタイトルは、**英語**で記入する。
- (2) 図、表および写真に、それぞれ通し番号を付し、ゴシック体（MSゴシックなど）で下記の通りにタイトルを記入する。（□：半角スペースを示す）
 図の場合は、「Fig. □1□□○○○」を図の下に記入する。
 表の場合は、「Table□1□□○○○」を表の上に記入する。（※ピリオド「.」無し）
 写真の場合は、「Photo. □1□□○○○」を写真の下に記入する。
- (3) 幅は、2段組の1段に収まるように、80mm以内を標準とする。80mmを超える場合は、2段分のスペースに収まる幅とする。
- (4) 頁の上下に位置するように配置する。複数ある場合は、まとめて以下のように配置する。
- (5) カラーを希望の場合は、カラー原稿を提出する。



9. 数式の書式

数式を入れる場合は、以下の要領で記入する。

- (1) 上下1行空けて全角4文字分のスペースを入れてから記入する。
- (2) 全角 [] 付きの式番号を、点線は入れずに右揃えで記入する。
- (3) 文中での引用は、「式 [1] 」とする。

□ : 全角スペースを示す		
1行	[1行空]	空
2行	□□□□ $Y = \sqrt{ax + b}$	[1]
3行	[1行空]	空
4行	□□□□ここにa : 実験定数	
5行	□□□□ b : 実験定数	
6行	[1行空]	空
7行	式[1]に示すように、○○○○○○○○○○	

10. 参考文献の引用

本文中の該当箇所の末尾に、以下の要領で記入する。

- (1) 半角英数字を使用して、文献番号を上付き片括弧で記入する。
- (2) 参考文献が複数ある場合は、文献番号をカンマ「,」で区切り、文献番号が連続する場合は必要に応じて「~」を使用し、最後に片括弧を記入する。

1行	○○○らが提唱する理論式 ^{1,2)} をもとに、本実験
2行	結果の解析を行った。その結果、既往文献 ²⁻⁸⁾ と

11. 謝辞

謝辞を入れる場合は、本文末尾から1行あけ、ゴシック体 (MSゴシックなど) で「謝辞:」を左詰めで記入し、改行後に記入する。

本文	1行	[1行空]	空
末尾	2行	謝辞:	
から	3行	本実験は、○○○○○○○○○○○○○○○○○○	

12. 参考文献

本文または謝辞の末尾から1行あけ、以下の要領で記入する。

- (1) ゴシック体 (MSゴシックなど) で「参考文献:」を左詰めで記入し、改行後に書き始める。
- (2) 記載の順番は文献番号、著者名、論文標題、雑誌(書)名、巻号、発行者名(書名の場合)、頁(始まりと終わり) 発行年(半角括弧で囲む)とする。

- (3) 頁の表記は、一頁のみの場合は「 p. ○○ 」とし、複数頁の場合は「 pp. ○○ -○○ 」とする。
- (4) 項目の区切りは、日本語文献の場合は読点「、」を、日本語以外の文献の場合はカンマ「,」を使用する。但し、発行年の前には入れない。
- (5) 日本語文献の場合、著者名は必ずフルネームを記入し、姓名の間にスペースを入れない。著者間の区切りは読点「、」を使用し、著者が3名を超える場合は筆頭著者以外を「ほか」として省略する。
- (6) 日本語以外の文献の場合、名の頭文字を先に、姓を後に記入する。著者間の区切りはカンマ「,」を使用し、著者が3名を超える場合は筆頭著者以外を「 et al. 」として省略する。

本文	1行	[1行空]	空
または	2行	参考文献：	
謝辞	3行	1) 原田克巳ほか：画像解析装置を用いた硬化コンクリ	
末尾	4行	ート中の気泡組織測定方法、セメント・コンクリート、	
から	5行	No. 471、pp.22-28 (1986)	
	6行	2) C.Wang et al.：Rev. 26th Gen. Mtg. Cem. Assoc.,	
	7行	Japan, p.76 (1972)	

13. 標題、著者、所属、所在地、要旨およびキーワードの英訳

1段組みとし、以下の要領で記入する。

13.1. TITLE

参考文献より5行空けて、以下の要領で記入する。

- (1) 半角を使用して、中央揃えで記入する。
- (2) 全て大文字で記入する。
- (3) フォントサイズを14ptとする。

13.2. AUTHOR(S)

TITLEから2行空けて、著者の英訳を以下の要領で記入する。

- (1) 半角を使用して、中央揃えで記入する。
- (2) ヘボン式ローマ字を使用して記入する。（別紙「ヘボン式ローマ字」参照）
- (3) 名は頭文字のみ大文字にし、姓はすべて大文字にする。
- (4) 著者間は、カンマ「,」で区切り、最終著者の前は「 and 」で区切る。
- (5) 著者名の末尾には*¹、*²の印を付け、所属機関名および所属部署名、所在地を導く。

13.3. AFFILIATION and ADDRESS

AUTHOR(s)から2行あけ、著者名に付した番号に対応する所属機関名、所属部署名および所在地の英訳を以下の要領で記入する。

- (1) 中央揃えで記入する。
- (2) 所属機関名のみ、半角の大文字で全てを記入する。

